

令和5年9月 加茂市長定例記者会見
令和5年9月7日（木）10:00～

内 容

1. 令和5年度加茂市総合防災訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・総務課
・9月24日に約30年ぶりとなる市民参加型の総合防災訓練を実施
2. 子育て支援の新規事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・こども未来課
・配偶者へのメンタルヘルスオンライン健康相談
・子育て期の女性の運動習慣化のための健幸サポートモデル事業
3. 駅前モニュメントのライトアップ・・・・・・・・長寿あんしん課・健康福祉課
・9月21日 世界アルツハイマーデー、9月23日 手話言語の国際デー
4. がん征圧新潟県大会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・健康福祉課
・10月6日 加茂文化会館 大ホールで開催
5. 新型コロナウイルスワクチン接種・・・・・・・・・・・・・・・・健康福祉課
・9月20日から加茂市産業センターホールで実施
6. 交通事故『なし』キャンペーン・・・・・・・・・・・・・・・・農林課
・9月27日午後2時から下条地内の新潟精機倉庫前で実施
7. 加茂市史 通史編 上巻の刊行・・・・・・・・・・・・・・・・社会教育課
・資料編を踏まえて時代順にまとめたもの 一冊2,500円
8. 「良寛と加茂」展・・・・・・・・・・・・・・・・社会教育課
・9月20日から10月23日まで、加茂文化会館良寛展示室で開催
9. 「カモナイトバザール」の開催・・・・・・・・・・・・・・・・商工観光課
・9月22日午後5時から午後9時まで穀町商店街・本町商店街で開催

令和5年9月 加茂市長定例記者会見

R5. 9. 7 (木) 10:00

1 令和5年度加茂市総合防災訓練について

加茂市では、このたび市民の防災意識の啓発と災害時における防災活動の円滑化を図るため、約30年振りとなる市民参加型の総合防災訓練を9月24日(日曜日)に行います。

当日は、国・県・市などの防災関係機関や福祉団体など、合わせて20の機関・団体が参加する他、市内の自主防災組織、自治会、そして市内の県立・私立高校の高校生がボランティアとして参加します。

訓練の概要は次のとおりです。

午前9時に、「警戒レベル3、高齢者等避難」、9時20分に「警戒レベル4、避難指示」の訓練放送を「緊急速報メール」や「かも防災・行政ナビ」により市内全域に配信します。市民の皆さまにおかれましては、6月に全戸配布した「洪水ハザードマップ」により、今一度、ご自宅の災害リスクや避難場所について確認していただきたいと思っております。

市内7つの自主防災組織では、避難所や地域の避難場所への避難訓練を、地元消防団と連携して行います。

また、市内3箇所の避難所では、避難者の受付や避難スペースへの誘導の他、避難所運営職員と地域住民が協力してダンボールベッドやテントなどを設営する訓練を行います。

加茂市産業センターでは、消防、警察、自衛隊などの装備展示や地震体験車による地震体験、消火器の使い方や土のう作りを体験できる訓練、災害レトルト食品などの湯せんによる炊き出し訓練などの他、防災クイズや防災かるた、バケツリレーなど、楽しみながら防災について学んでいただける訓練を行います。

この総合防災訓練を通じ、市民一人ひとり、そして地域の皆さまが、

防災意識を高め、自助・共助の考えと仕組みづくりを共有し、災害時の適切な行動に繋がっていただきたいと思います。

自主防災組織が行う避難訓練や加茂市産業センターで行う展示・体験訓練に、多くの市民の皆さまから参加していただきますよう、よろしくお願いいたします。

2 子育て支援の新規事業について

最初に、妊産婦の配偶者へのメンタルヘルスオンライン健康相談についてです。

加茂市では、令和4年8月から妊産婦へのメンタルヘルスオンライン健康相談を実施しています。妊産婦へのスクリーニングを実施し、健康相談や受診へと繋ぐことで、心の不調の早期発見、うつ病等の重症化予防を図ります。

産前産後うつは妊産婦だけでなく、その配偶者も発症する可能性があります。国立成育医療研究センターによると、産婦の産後うつや不安定な就労状況、周囲の支援の乏しさといった社会経済的な要因から、配偶者のメンタルヘルスの不調は産後3~6か月頃に最も高くなり、産後1年までの期間をとおして見られると言われてしています。そのため配偶者へのメンタルケアの重要性が高まっているところです。

このような現状の中で、新潟大学医学部発のベンチャー企業である株式会社アイセックが、配偶者向けの「うつ症状スクリーニング」と「オンライン健康相談」を行うことになり、加茂市はこの事業に取り組むことにいたしました。今年8月から運用できる体制を整備し事業を開始しています。

出生届出の際の面談で不安がある方や希望された方に、妊産婦同様、スマートフォンで専用サイトにアクセスして、ご自身で質問項目の回答を入力していただき、サイト上で心身の状況を判断します。そこで健康

相談が必要と判定された方はオンライン健康相談の予約に繋がります。

保健師や助産師、産業カウンセラーなどのコメディカルとの健康相談により、さらに専門の診療が必要であれば、改めて専門の医療機関への受診をお勧めします。

配偶者は長時間労働に加え、家事、育児の負担により、心身に負担が蓄積しやすい生活環境に置かれています。そのため、配偶者の支援を充実させることが母子への支援の充実に繋がります。

心身に負担を抱える方への一助となりますので、皆さまからスクリーニング検査を行っていただき、ご自身の状態を確認していただければと思います。

次に、妊産婦等への「健幸サポート」モデル事業についてです。

加茂市では、総合計画における子育て支援施策の基本指針「みんなが安心して子どもを育てることができるまち」を推進するため、妊娠期・子育て期の女性をターゲットとして、安全かつ効果的に楽しみながら運動を習慣的に実施してもらえるように、筑波大学等と協働しながらこの事業に取り組んでいきます。

この事業は、妊娠・子育て期で忙しい女性でも気軽に参加できるオンラインの教室と、対面で顔を合わせて交流できるオンサイトの対面教室を併用して実施します。

オンライン教室は筑波大学監修のもとで行われ、自宅等で週2回までの参加が可能となります。

オンサイトの対面教室は月1回のペースで妊産婦ヨガや身体が上手に使える運動を加茂市あそびの広場で実施します。対面で実施することで、妊産婦同士が交流し仲間づくりができます。

さらに、運動終了後には、オンライン、オンサイト教室ともに保健師、助産師の健康相談を毎回必ず組み込み、妊産婦の悩みや質問にお答えします。

運動と交流をセットにした教室を開催することで、からだの健康とこ

ころの健康の両面からアプローチをしていきます。

これらの取組を実施することで、妊娠期・子育て期の女性の運動の習慣化や、妊産婦同士が交流することにより産後うつや育児不安の解消に繋がることを期待しています。

各教室の詳しい日程は、決まり次第、市のホームページなどでお知らせいたします。

なお、この事業に伴う費用は、加茂市議会 9 月定例会において、補正予算について市議会からご審議いただいたのち、決定いたします。

3 駅前広場モニュメントのライトアップについて

毎年 9 月 21 日は、国際アルツハイマー病協会と世界保健機関が共同で制定した「世界アルツハイマーデー」です。

加茂市では、認知症への理解を深め、正しい知識を学び、認知症の方とそのご家族が安心して暮らせる社会づくりの啓発のため、駅前広場のモニュメントをオレンジ色にライトアップします。

日時は、9 月 21 日午後 5 時 45 分から午後 10 時までです。認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色は、温かさを感じさせる色で、「手助けします」という意味を持っています。ライトアップすることで、認知症への理解に繋がります。

また、毎年 9 月 23 日の「手話言語の国際デー」にも駅前広場のモニュメントを青色にライトアップします。

全日本ろうあ連盟では、「世界そして日本を青色に！手話言語をブルーライトで輝かせよう - 市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト 2023」として全国に呼び掛けています。

ライトアップの日時は、9 月 23 日午後 5 時 45 分から 10 時までです。

加茂市では、令和元年 10 月に「加茂市手話言語条例」を制定しています。ブルーライトアップ事業を通じて、市民の皆さまに、あらためて手

話言語への理解と関心を深めていただける機会となることを期待しています。

4 がん征圧新潟県大会の開催について

新潟県は、がんの死亡率が全国平均を大きく上回るがん多発県です。

そこで、がんに対する正しい知識の普及と、がん検診の重要性の啓発を図るため、第38回がん征圧新潟県大会を10月6日午後1時から、加茂文化会館大ホールで開催します。

大会では、新潟大学大学院保健学研究科の小山諭（こやま ゆう）教授から「乳がんを制圧するために」と題し、ご講演いただきます。

また、女優でタレントの原千晶（はら ちあき）さんから「大切にしたい自分の体 2度の子宮がんを経験して」と題し、体験談をお話しいただきます。原千晶さんは、女優やタレントとして活躍する傍ら、2度がんを患い、婦人科特有のがんを患った人たちとお話する「よつばの会」で活動されています。

そのほか、2021年に加茂市内の風景を唄う「見上げる空に」をリリースしたシンガーソングライターのルウ・ハルベさんのミニコンサートがあります。

同時開催として、生活習慣病予防展が開催され、血管年齢の測定などができます。多くの方からご来場いただき、健康意識の向上に繋がっていただきたいと思います。

5 新型コロナウイルスワクチン接種について

加茂市では、新型コロナウイルスワクチンの3回目から7回目の追加接種について、集団接種を9月20日から開始します。

今回の追加接種は、最後に接種した2回から6回目の接種から3か月

以上が経過した5歳以上の方が対象です。

接種は9月に5日間、10月が6日間、11月が7日間、12月が12日間で、受付時間は午前9時から11時30分、午後は1時30分から4時までです。会場は加茂市産業センターホールで接種費用は無料です。

接種券は8月25日から順次発送していますが、そのうち65歳以上でこの春に接種を受けた方は、接種日時を指定した接種券となっています。12歳以上の方は接種券が届きましたら、ご自身の都合に合わせてコールセンターへのお電話、またはインターネット、健康福祉課窓口で予約ができます。5歳から11歳までの小児は、コールセンターへのお電話、またはインターネットで予約ができます。

6 交通事故『なし』キャンペーンの実施について

交通事故『なし』キャンペーンは、9月21日から始まる「秋の全国交通安全運動」と連携し、“『なし』を食べて交通事故をなくしましょう”をスローガンとして、交通安全の呼びかけと加茂産「日本なし」の宣伝普及と消費拡大を図るために毎年実施しています。

今年度は、9月27日午後2時から下条地内の国道403号沿いの新潟精機株式会社加茂倉庫前で実施します。駐車場で開会式を行った後、加茂警察署、加茂地区交通安全協会による街頭指導に合わせて、ドライバーの皆さまに、えちご中越農業協同組合から提供していただく加茂産日本なしと交通安全啓発物品をお配りし、交通安全に対する意識向上を図ります。

7 加茂市史通史編上巻の刊行について

この度、加茂市史通史編上巻を刊行しましたのでお知らせいたします。これまで1巻から6巻までを刊行した資料編を踏まえて、加茂の歴史

を時代の古い方からまとめたものです。上巻では、地形・地質、旧石器・縄文時代から幕末までを約 600 点の図版や表・写真を使いながら詳細に記述しています。総ページ数は 780 ページで、加茂の成り立ちや豊かな歴史を知ることができます。昭和 50 年に刊行された旧版加茂市史から約 50 年、その間に発見、調査された新たな資料を盛り込み、現時点での加茂の最新の歴史が綴られています。

一冊 2,500 円で、市役所 4 階の社会教育課、図書館、公民館、民俗資料館、七谷・下条・中央・須田の各コミュニティーセンターで購入できます。郵送でのお届けも可能です。詳しくは社会教育課にお問い合わせください。

是非、お買い求めいただき、郷土への理解を深めていただきたいと思います。

8 「良寛と加茂」展の開催について

9 月 20 日から 10 月 23 日までの間、加茂文化会館良寛展示室において、「良寛と加茂」展を開催します。

令和 5 年 5 月からの大ホール再開に合わせて、展示室の活用方法について見直しを行い、「加茂耕土社と巨匠たち展」、「加茂文化協会会員展」を開催してきました。この度、満を持しての「良寛と加茂」展の開催です。

全国良寛会会長の小島正芳先生を監修に迎え、加茂市が所蔵する良寛遺墨を軸に、良寛と加茂との繋がりに注目して展示を行います。

また、10 月 7 日には、本展のアンバサダーで書家の泉田佑子さんによるギャラリートークを予定しています。

多くの方のご来館をお待ちしております。

9 「カモナイトバザール」の開催について

加茂商工会議所では、会員事業所の売上アップと商店街の賑わいづくりを目的として、「カモナイトバザール」を9月22日に開催します。開催時間は、午後5時から午後9時までです。

このイベントは、コロナ禍により大きな影響を受けた飲食業界を盛り上げるとともに、商店街に夜の賑わいを取り戻すための新たな取組です。

穀町商店街はバザール会場となり、本町商店街には市内外からキッチンカーが集合します。加茂信用金庫本店ホールでは、1日限りのディスコイベントが開催されます。

また、新町商店街を会場として「新町雁木通りで皆で踊ろう加茂松坂」が同時開催されます。こちらも併せてお楽しみください。

なお、穀町商店街から新町商店街までの大通りは、午後3時から午後10時までの間、車輛通行止めとなりますのでご注意ください。

イベントの詳細やお問い合わせは、加茂商工会議所までお願いします。

みんなで防災訓練に参加しましょう

9月24日(日) 総合防災訓練

風水害を想定した情報連絡訓練 (市内全域)

訓練放送の時間と内容

8:50 事前告知



- 9:00 訓練放送「警戒レベル3 高齢者等避難」**
避難に時間のかかる人は避難を開始、その他の人は避難の準備
- 9:20 訓練放送「警戒レベル4 避難指示」**
危険な場所から全員避難を開始

10:30 訓練放送「警戒レベル4 避難指示解除」

* 緊急速報メール、かも防災・行政ナビ、加茂市防災・市民情報配信サービス（メール、LINE）により配信します。
実際の災害と間違わないようにしてください。

展示・体験訓練 (加茂市産業センター)



景品も
もらえるよ



※避難訓練等を実施する地域
黒水東区、黒水南区、上大谷区、上町区、都ヶ丘区、中村区、下興屋向区

9月24日(日)に、防災意識の啓発と災害時における防災活動の円滑化を図るため、市民参加型の総合防災訓練を行います。
大雨により洪水や土砂災害のおそれがある状況を想定し、避難情報(訓練放送)を「緊急速報メール」や「かも防災・行政ナビ」により、市内全域に配信します。この機会に6月に全戸配布された「洪水ハザードマップ」を確認し、ご自宅の災害リスクや避難場所を確認しましょう。
市内の自主防災組織では地元消防団と協力しながら住民避難訓練や担架、リヤカー、車いすを使用した避難行動要支援者支援訓練を行います。また、市内三ヶ所の避難所施設では、避難所開設・運営訓練を行います。

加茂市産業センターでは、地震体験車による地震体験や消防、警察、自衛隊などの装備車両の展示、災害レトルト食品などの湯せんによる炊き出し訓練、消火訓練や救助訓練、土のう積み体験、避難所設営体験ではダンボールベッドの組み立てなど、防災クイズや防災かるた、バケツリレーなど、楽しみながら防災について学べる展示・体験訓練を行います。
防災訓練に参加して、災害に対する心構えと日頃の準備、家庭や地域での防災対策について確認しましょう。



地震体験訓練



防災関係機関の装備車両等展示



お米や災害用レトルト食品の湯せんによる炊き出し訓練



防災クイズ



防災かるた



給水体験訓練



救出訓練



避難所設営訓練



土のう積み体験

上記の他、ハザードマップについて学べるエリアや防災用品の展示、災害パネル展示、バケツリレーなどを行います。
※写真はイメージであり、本訓練のものとは異なります。

お問い合わせ：総務課防災係 (☎ 内線321)

参加関係機関・団体 (順不同)

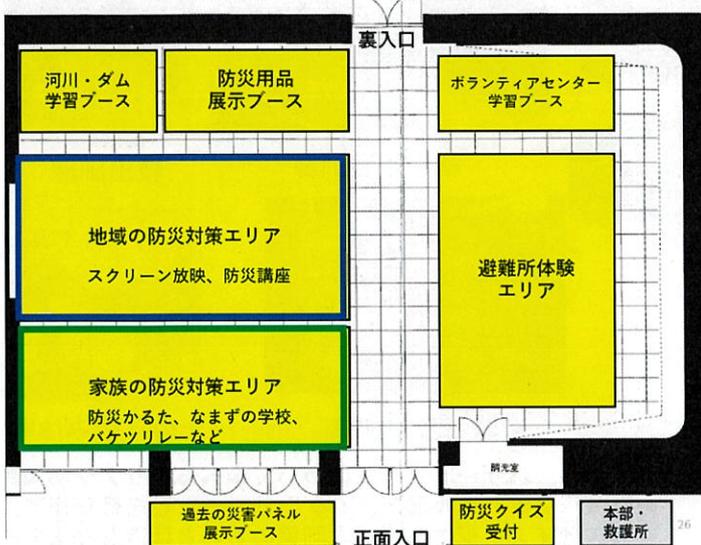
防衛省陸上自衛隊第30普通科連隊、防衛省自衛隊新潟地方協力本部加茂地域事務所、国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所、新潟県三条地域振興局、加茂警察署、見附市、東北電力ネットワーク株式会社新潟県央電力センター、東日本電信電話株式会社新潟支店、特定非営利活動法人コメリ災害対策センター、佐川急便株式会社、船山株式会社、太陽工業株式会社、社会福祉法人加茂市社会福祉協議会、一般社団法人加茂市建設業協会、赤十字安全奉仕団加茂市分団、社会福祉法人加茂福祉会、加茂市連合婦人会、クッキングすずらん・調理ボランティア、市内自主防災組織、自治会、加茂市消防団、市内県立・私立高校（高校生ボランティア）、加茂地域消防本部、加茂市

訓練スケジュール

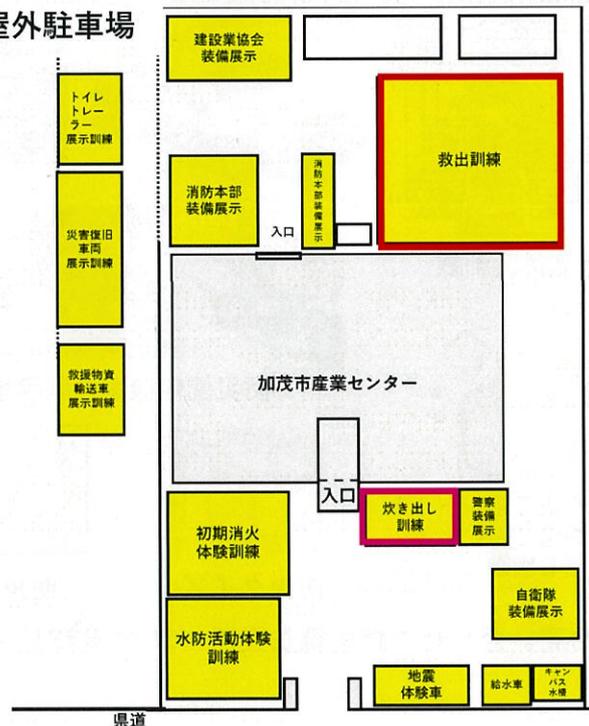
訓練項目等	9:00	10:00	11:00	12:00
情報伝達訓練	警戒レベル3 高齢者等避難 警戒レベル4 避難指示	警戒レベル4 避難指示解除		
住民避難訓練 避難行動要支援者支援訓練	黒水東区自主防災会、黒水南区、上大谷区自主防災会、上町自主防災組織、都ヶ丘区自主防災会、中村区自主防災会、下興屋向区会			
避難所開設・運営訓練	加茂南小学校、北コミュニティセンター、下条体育センター			
展示・体験訓練 加茂市産業センター	ホール			
	展示・体験訓練			
	避難訓練等 スクリーン放映			
	9:20～ 防災かるた	10:10～ なまずの学校	11:00～ バケツ リレー	11:30～ 防災講話
屋外駐 車場	正面	展示・体験訓練		
	裏	10:00～ 炊き出し訓練 試食		
		展示・体験訓練		
		10:30～ 救出訓練		

会場配置図 (加茂市産業センター)

ホール内



屋外駐車場



※ 地域の防災エリアの観覧席は喫食可能です。

令和5年度加茂市総合防災訓練 実施要綱

1 目的

市民参加型の総合防災訓練を実施し、市民の防災意識の啓発と災害時における防災活動の円滑化を図る。

2 開催日時

令和5年9月24日（日）午前9時から正午まで

3 訓練想定（防災意識啓発・展示・体験訓練を除く。）

前日からの断続的な雨により、市内全域で土砂災害・河川の氾濫の危険性が高まったことから、市では市内全域に避難情報を発令する。

4 訓練地域

情報伝達訓練：市内全域

住民避難訓練、避難行動要支援者支援訓練：黒水東区、黒水南区、上大谷区、上町区、都ヶ丘区、中村区、下興屋向区

避難所開設・運営訓練：加茂南小学校、北コミュニティセンター、下条体育センター

防災意識啓発・展示・体験訓練：加茂市産業センター

5 参加機関・団体（順不同）

防衛省陸上自衛隊第30普通科連隊、防衛省自衛隊新潟地方協力本部加茂地域事務所、国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所、新潟県三条地域振興局、加茂警察署、見附市、東北電力ネットワーク株式会社新潟県央電力センター、東日本電信電話株式会社新潟支店、特定非営利活動法人コメリ災害対策センター、佐川急便株式会社、船山株式会社、太陽工業株式会社、社会福祉法人加茂市社会福祉協議会、一般社団法人加茂市建設業協会、赤十字安全奉仕団加茂市分団、社会福祉法人加茂福祉会、加茂市連合婦人会、クッキングすずらん・調理ボランティア、市内自主防災組織、自治会、加茂市消防団、市内県立・私立高校（高校生ボランティア）、加茂地域消防本部、加茂市

6 訓練項目

（1）情報伝達訓練（加茂市）〔訓練地域：加茂市内全域〕

加茂市は、洪水や土砂災害の危険性が高まったことから、市内全域に避難情報（訓練放送）を「緊急速報メール」や「かも防災・行政ナビ」により住民及び防災関係機関に一斉伝達する。

（市民へ洪水ハザードマップによる自宅の災害リスクや避難場所の確認を促す。）

ア 防災関係機関等装備展示訓練

(防衛省陸上自衛隊第30普通科連隊、加茂警察署、加茂地域消防本部、一般社団法人加茂市建設業協会)

災害時の活動に係る装備車両、機材等の展示を行う。

イ 地震体験訓練 (国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所、加茂市)

地震の模擬体験により、身を守る行動や住宅の耐震化、家具の固定などの重要性についての普及・啓発を行う。

北陸地方整備局の活動に係る広報パネル展示を行う。

ウ 初期消火体験訓練 (加茂市消防団)

消火器の使い方、防火についての普及・啓発を行う。

エ 救出訓練 (加茂地域消防本部)

車両内に閉じ込められた人員の救出訓練を行う。

オ 水防活動体験訓練 (加茂市消防団)

水防工法の展示・体験、土嚢づくり体験訓練を行う。

カ 給水体験訓練 (加茂市)

給水車、キャンバス水槽の展示、給水袋による給水体験を行う。

災害現場における給水活動のパネル展示を行う。

キ 炊き出し訓練 (赤十字安全奉仕団加茂市分団、加茂市連合婦人会、クッキングすずらん・調理ボランティア、高校生ボランティア、加茂市)

災害用レトルト食品などの湯せん調理による炊き出し訓練を行い、試食を提供する。

災害食の家庭備蓄に係る広報パネル展示を行う。

ク トイレトレーラー展示訓練 (見附市)

トイレトレーラーの展示を行う。

ケ 救援物資輸送車展示訓練 (佐川急便株式会社)

救援物資輸送車の展示及び活動に係る広報パネル展示を行う。

コ 災害復旧車両展示訓練 (東北電力ネットワーク株式会社新潟県中央電力センター)

高圧応急用電源車、災害復旧支援車 (DRサポートカー) の展示及びDVD放映による活動に係る広報を行う。

〈屋内訓練〉

ア 過去の災害パネル展示ブース (防衛省自衛隊新潟地方協力本部加茂地域事務所、国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所、加茂市)

過去の災害現場の被災状況及び防災関係機関の活動に係るパネル展示を行う。

イ 防災クイズ (加茂市)

地震発生時の身を守る行動から避難、避難生活の各段階における基礎的な防災知識をスタンプラリー形式でクイズに答えながら楽しく学んでいただく。

ウ 家族の防災対策エリア (社会福祉法人加茂市社会福祉協議会、加茂市消防団、加茂地域消防本部、高校生ボランティア、加茂市)

(2) 会場

加茂市産業センター ホール（地域の防災対策エリア）

(3) 訓練講評者

加茂市長

8 荒天時対応

訓練は雨天の場合でも原則決行する。ただし、市内において災害が発生、または発生するおそれがある場合は、訓練の全部または一部を中止する。

9 訓練中止の連絡

中止の場合は、訓練当日の午前6時30分までに訓練参加機関・団体へメール配信するとともに、かも防災行政ナビ、加茂市ホームページにより市民等に周知する。

「世界そして日本を青色に！-手話言語をブルーライトで輝かせよう-」 市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト 2023

趣旨

毎年 9 月23日に行われる手話言語の国際デーは、2017年 12 月 19 日に国連総会で決議され、今年で6年目になります。決議文では、「手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国すべてにおいて手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進する」とされています。毎年テーマが決められており、2023 年は「世界中のろう者が、どこでも手話言語でコミュニケーションできる社会へ！（英語原文：A World Where Deaf People Everywhere Can Sign Anywhere!）」です。



INTERNATIONAL DAY
OF SIGN LANGUAGES

手話言語の国際デーのロゴ

世界ろう連盟(World Federation of the Deaf:WFD)は 9 月 23 日に手話言語に関するイベントを 2018 年から開催してきました。このイベントに加えて 2022 年から、国連や世界ろう連盟のロゴの色で、「世界平和」を表す青色(#007EC4)を世界各地でライトアップを呼びかけました。このイベントやブルーライトアップは世界、市民、地域社会が SNS でつながり、**各国の手話言語を尊重しあい、世界中のきこえない・きこえにくい人ときこえる人がひとつになる瞬間**です。

日本でも国内 147 自治体でブルーライトアップを行いました。

今年も世界ろう連盟から2023年9月 23 日(土)に全ての公共の場所やランドマーク、官邸、庁舎、市庁舎などを青色でライトアップするよう呼びかけが行われています。この呼びかけに応じて全日本ろうあ連盟でも、今年も「世界そして日本を青色に！-手話言語をブルーライトで輝かせよう-」市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト 2023 を行います。

2006 年に国連で採択された障害者権利条約にて「言語に手話が含まれる」ことが明記されたのをきっかけに、全日本ろうあ連盟は 2010 年より「手話言語法」制定を求める取り組みを続けています。

私たちろう者にとって生活のあらゆる場面で、手話言語によるコミュニケーションや情報提供が保障されることは、きこえる人とともに暮らせる「共生社会」の一步となります。

全国の自治体や民間企業・団体等の皆さま、是非このプロジェクトに賛同いただき、「手話が言語である」ことへの認知を広めることにご協力ください。

チャレンジプロジェクトの推進について

きこえる人ときこえない・きこえにくい人がともに暮らせて、人権と平等が守られた共生社会を求め、全国各地の名所や施設を同時にライトアップすることで、大きなインパクトを人々に与え、手話は言語であるという認識を広めていきたいと考えています。

連盟の加盟団体(全日47協会)の他にも、関係団体である「手話を広める知事の会(全都道府県知事が入会)」、「全国手話言語市区長会(606市区長、12町村長が入会)」からも、昨年に続き積極的なご協力をいただいています。

連盟のホームページには、「プロジェクト公式ページ」を設置し、賛同いただける自治体や民間等からのプロジェクト参加を順次公表していきます。

ライトアップについて

ライトアップの日時や基準は以下の通りとします。

- 日時 2023年9月23日(土・祝) 日没15分後～
終了時刻はその施設等の規定による
- ライトアップ色 青色(原則として#007EC4、若しくはこの色に近いものとする)
- 点灯間隔 原則として常時点灯とする

※ライトアップに係る費用等はその自治体や民間等の負担での取り組みをお願いしております。ご理解いただけますようお願い申し上げます。

賛同を示す周知方法について

賛同いただき、ライトアップをされた場合、SNS等での周知にご協力ください。

●別途での案内を予定している申し込みフォームにて、ライトアップを行う施設及び、その写真、ライトアップの時間、住所、アクセス等の情報を2023年8月1日までにお寄せください。いただいた情報はプロジェクト公式ページに掲載します。

●当日ライトアップされた写真や動画は、ハッシュタグ(「#IDSL」「#BlueLight」「#手話言語に光を」)と、タグ付け(「@jfd.or.jp」「@Wfdeaf」)して、SNS等にアップしてください。

●ライトアップされた写真や動画を、2023年9月23日以降に案内を予定しているフォームにてぜひ国際委員会までご提供ください。なお、ご提供いただいた写真や動画はプロジェクト公式ページや連盟の広報媒体、書籍等に掲載することがあります。



前回(2022年)の様子

- 問い合わせ先 一般財団法人全日本ろうあ連盟
国際委員会: jfd-km@jfd.or.jp
TEL 03-3268-8847
FAX 03-3267-3445

第38回

がん征圧新潟県大会

東北広域次世代がんプロ養成プラン 第10回市民公開講座

令和5年 **10/6** **金**

参加無料
事前申込
不要

時間 13:00~16:20 (開場12:00)

会場 加茂文化会館 大ホール 加茂市幸町2丁目3-5
Tel.0256-53-0842

参加対象者 どなたでもご参加いただけます

安心を 明日につなぐ がん検診

(公益財団法人日本対がん協会 2023年度がん征圧スローガン)

◆特別講演(13:40~14:40)

「乳がんを征圧するために」

新潟大学大学院保健学研究科

教授 小山 諭 先生

◆体験談(14:50~15:50)

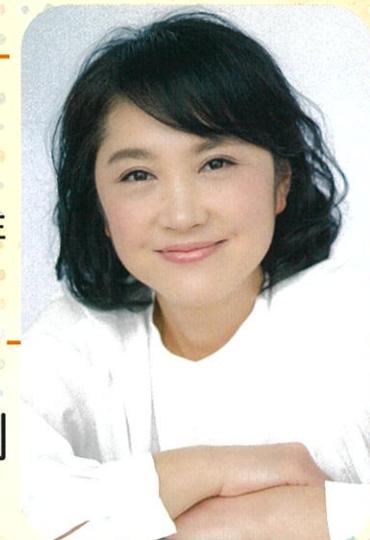
「大切にしたい自分の体
~2度の子宮がんを経験して~」

よつばの会代表・女優・タレント 原 千晶 さん

◆その他

- 式典(功労者表彰)
- ミニコンサート

シンガーソングライター
ルウ・ハルベ さん



同時開催

正午より

生活習慣病予防展

(血管年齢測定 等)

■主催 公益財団法人新潟県健康づくり財団
加茂市、東北広域次世代がんプロ養成プラン

■共催 一般社団法人新潟県医師会

お問合せ先

(公財)新潟県健康づくり財団 普及情報課
Tel. 025-224-6161 / E-mail. contact@nhf.or.jp

新型コロナワクチン接種【令和5年秋開始接種】のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の重症化予防を目的に新型コロナワクチンの接種を行います。

- 対象者：5歳以上で2～6回接種を完了し3ヶ月経過した方
- 接種券の発送時期：9月1日（金）より対象者へ順次発送いたします。
（接種券がお手元にある方はそのままお使いください）



- 接種カレンダー ワクチンの供給等により変更する場合があります

月	9月				10月			11月				12月				
	月	火	水	木	月	火	水	月	火	水	日	水	木	金	土	日
曜日	月	火	水	木	月	火	水	月	火	水	日	水	木	金	土	日
午前	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	/	/	/	/	/	/
午後	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	5	/	/	/	/	/
ワクチンの種類								未定								
午前	/	/	/	/	/	/	11	6	7	8	/	/	/	8	9	10
午後	/	/	/	/	/	10	11	6	7	8	/	/	/	8	9★	10
ワクチンの種類					ファイザー(予定)			未定				未定				
午前	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	13	14	15	16	/
午後	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	13	14	15	16	/
ワクチンの種類								未定				未定				
午前	/	/	20	21	/	24	25	/	21	22	/	20	21	22	23	24
午後	/	/	20	21	/	24	25	/	21	22	/	20	21	22	23	24
ワクチンの種類	ファイザー(予定)				ファイザー(予定)			未定				未定				
午前	/	26	27	/	/	31	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
午後	25	26	27	/	30	31	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ワクチンの種類	ファイザー(予定)				ファイザー(予定)											

※会場 加茂市産業センター 受付時間 9:00～11:30、13:30～16:00

★5～11歳(詳細は裏面参照)

- 使用するワクチンは、オミクロン XBB.1.5 株の1価ワクチン（ファイザー又はモデルナ）

※65歳以上で今回接種券を送付する方には集団接種の日時指定をしています。

方法	問い合わせ先	受付
インターネット	加茂市ホームページ 	随時
電話	コールセンター(0256-57-7001)	9:00～17:00 (土日祝除く)
窓口	健康福祉課	

ワクチン接種に関する情報はコチラから



予約開始日 9月11日(月)

※ワクチン接種のため接種会場を発着する市民バス、のりあいタクシーを利用される方は、接種券提示で無料になります。(のりあいタクシー利用の時は予約時に申し出てください。)

※初回接種も集団接種日に実施します。1、2回目接種が未接種の人は、コールセンターへご相談ください。

※個別接種につきましては、12月から実施します。日程等が決まり次第お知らせします。

■お問い合わせ 加茂市新型コロナワクチンコールセンター
電話 0256-57-7001【9:00～17:00 ※土日祝を除く】

裏面も参照

【乳幼児(6か月～4歳児)接種日程及び受付開始日】

※初回接種は1～3回目はセットになっています。追加接種は1回です。

医療機関名	1回目	2回目	3回目	集合時間	予約開始日
いからし小児科 アレルギークリニック	12月5日 (火)	12月26日 (火)	2月20日 (火)	14:15	初回接種 10月23日(月) 追加接種 11月1日(水)
監物小児科医院	1月10日 (水)	1月31日 (水)	3月27日 (水)	12:00	

○予約方法 コールセンターのみ(医療機関では予約できません)

○ワクチンの種類 乳幼児用オミクロン XBB.1.5 株の1価ワクチン(初回・追加)

○接種券の発送について 初回接種…6か月になるお子さんに順次発送いたします。

追加接種…対象者の方に9月中旬頃(予定)発送いたします。



注 意 事 項

いからし小児科 アレルギークリニック	重症な食物アレルギー、薬物アレルギー、蜂アレルギーの方でクリニック初診の方は接種日まで受診が必要です。
監物小児科医院	・他の医療機関を受診している方は主治医の許可があれば可。 ・かかりつけ以外でアナフィラキシーの既往のある方は不可。

【小児(5～11歳児)集団接種日程及び受付開始日】

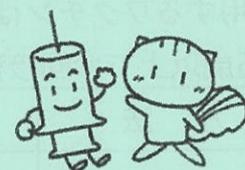
接種日	会場	受付時間	予約開始日	予約締切日
10月7日(土)	田上町交流会館	14:00～16:00	9月15日(金)	9月29日(金)
12月9日(土)	加茂市産業センター	14:00～16:00	10月10日(火)	12月1日(金)

○予約方法 インターネット(追加接種のみ)、コールセンター

○ワクチンの種類 小児用オミクロン XBB.1.5 株の1価ワクチン

○接種券の発送について 追加接種…対象者の方へ9月中に発送いたします。

(接種券がお手元にある方は、そのままお使いください)



※初回接種も集団接種で実施します。1、2回目接種が未接種の人は、コールセンターへご相談ください。

【接種券の発行申請について】

使用できる接種券が不明、または届かない(転入などを含む)などで接種券の発行を希望する方は、コールセンターまたは健康福祉課の窓口にお申し出ください。

【予防接種との間隔について】

新型コロナワクチン接種の前後にインフルエンザ以外の予防接種を行う場合は、13日以上の間隔をあけてください。

接種後も手指消毒など感染防止対策を継続しましょう

